

総務部長	五十嵐 久英君	市民部長	渡辺 成剛君
産業部長	見辺 太君	総務課長	渡辺 忍君
企画定住課長	渡辺 孝志君	財政課長	山口 和美君
青海事務所長	猪股 和之君	市民課長	川合 三喜八君
環境生活課長	高野 一夫君	福祉事務所長	嶋田 猛君
健康増進課長	池田 隆君	商工観光課長	大嶋 利幸君
農林水産課長	猪又 悦朗君	建設課長	五十嵐 博文君
復興推進課長	斉藤 喜代志君	消防長	小林 正広君
教育長	井川 賢一君	教育次長	磯野 茂君
教育委員会子ども課長	磯野 豊君	教育委員会子ども教育課長	富永 浩文君
教育委員会生涯学習課長		教育委員会文化振興課長	
中央公民館長兼務	穂 莉 真君	市民会館長兼務	伊 藤 章一郎君
市民図書館長兼務			

〈事務局出席職員〉

局	長	松 木 靖君	次	長	松 村 伸一君
係	長	上 野 一樹君			

〈午前10時00分 開議〉

○議長（中村 実君）

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

欠席通告議員はありません。

定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長（中村 実君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、1番、平澤惣一郎議員、18番、松尾徹郎議員を指名いたします。

日程第2．一般質問

○議長（中村 実君）

日程第2、一般質問を行います。

発言通告者は15人ですが、議事の都合により、本日5人、14日5人、15日5人を予定しております。

一般質問の質問時間は、答弁を除き、1人30分であります。所定の時間内に終わるよう質問・答弁とも簡明に要領よくお願いいたします。

また、質問は通告書の範囲内にとどめるよう、ご協力をお願いいたします。

通告順に発言を許します。

田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。〔9番 田原 実君登壇〕

○9番（田原 実君）

おはようございます。糸魚川21クラブの田原 実です。初めての一般質問以来、今回で70回目の一般質問となります。よろしく申し上げます。

以下、通告書に基づき質問をします。

質問1、新型コロナウイルス対応、看護師確保等、糸魚川地域医療の現状と課題について。

(1) 新型コロナウイルス対応で医療体制が崩壊してしまわないよう、市が中心となって対策を取るべきと、これまでの一般質問でも取り上げていますが、再度、以下の点について伺います。

- ① 予防策と検査体制について。
- ② ワクチン確保について。
- ③ 重症化対策について。

(2) 糸魚川市の地域医療体制確保の施策については、これまでも取り上げていますが、その効果はどうであったか、この先の対応はどうなるか、伺います。なお、施策の詳細は、通告書に記してあるとおりです。

(3) 13年前、姫川病院が突然閉院し、糸魚川の医療現場は混乱し、市民の命が危機にさらされました。以来、唯一の基幹病院である厚生連糸魚川総合病院を維持することも一つの目的として、市民が医療について理解を深める地域医療フォーラムを提案し、毎年開催してきましたが、その効果はどうであったか伺います。

(4) 地域医療体制の最大の課題である看護師確保、看護師育成の強化策についてはこれまでの一般質問でも取り上げていますが、再度、以下の点について、伺います。

- ① 看護師の市内就職と看護師が働きやすい職場環境整備について。
- ② 家族で考える糸魚川の医療体制と、看護職を目指す子供たちの芽生えについて。
- ③ 看護職を目指す中高生の育成について。
- ④ 看護師育成の専門機関の創設について。
- ⑤ アニメを使った看護師育成テキスト「ナースへの道」作成とその活用について。

質問2、「糸魚川のシーフードは最高！」ブランド魚、深海魚、漁港の活用、新しい情報発信で稼ぐ「さかなのまち糸魚川再生」について。

- (1) 市内漁港の現状、漁協、漁師の数、水揚げの状況、市内漁場の特性とエリアごとの魚種、近隣観光施設との連携について伺います。
- (2) 糸魚川で捕れる魚は鮮度・状態が良くトップブランドとなる品質ですが、一つの魚種の量の確保が難しいと聞いています。ただ、新しい技術や販路の工夫で、糸魚川の魚のよさ、おいしさ、珍しさを情報化して「さかなのまち糸魚川」をアピールすべきと思いますが、いかがですか伺います。
- (3) 「糸魚川のシーフードは最高！」と思える魚食文化の醸成については、家庭や教育現場での実食が必要です。糸魚川の魚をおいしく食べて習慣化する、幼児期、小中学校、高校、市民に向けてのそれぞれの取組について伺います。
- (4) 糸魚川の魚を使った加工品の開発と販売、魚を使った疲労回復長寿命メニューの市民への周知と定着の取組を進めてはいかがでしょうか、伺います。
- (5) 市内漁港への釣り人の侵入による被害と対策の状況について伺います。
- (6) 長野県の皆さん、子供たちから見て、糸魚川が憧れの地となるような、これからの海、海岸、漁港の活用について伺います。
- (7) 糸魚川の漁師ユーチューバーが注目を浴びていますが、ご存じでしょうか。「さかなのまち糸魚川」の新しい情報発信として、また魚で稼ぐツールとして活用すべきと考えます。予算をつけて支援してはいかがですか、伺います。

質問3、「駅開き、まち開き、谷開き」、えちご押上ひすい海岸駅開業をきっかけとする押上、西海、海谷溪谷をつなぐ地域連携エリアの複合的な魅力づくりについて。

- (1) 新駅開業事業のスケジュールと、それ以降の駅周辺のにぎわいづくり及び定住促進について伺います。
- (2) アニメ「宝石の国」のひすいのキャラクターの活用、ヒスイ海岸の看板のライトアップ、ヒスイ海岸護岸のイルミネーション、バス対応駐車場など、観光誘客に向けた海岸の利用と環境整備について伺います。
- (3) 駅近くに駄菓子屋さん、そば屋さん、弁当屋さん、銭湯があればよいと思いますがいかがですか、伺います。
- (4) 海川上流の海谷溪谷から河口の押上海岸までの地域連携エリアの豊かな自然・文化を活用する魅力向上について伺います。自然の一例を挙げれば、映画が撮影された海谷溪谷ジオサイトの景観のすばらしさは言うまでもなく、また文化資源の一例を挙げれば、水保観音堂の木造十一面観音立像は元国宝で、現在国指定重要文化財です。
- (5) 海谷溪谷から押上海岸までの釣りやキャンプによる誘客の取組について伺います。
- (6) 県立糸魚川高校の「高校の魅力化」のプログラムである糸高「アイ・クエスト」「探究活動」が展開される、地域連携エリアの複合的な魅力づくりについて伺います。
- (7) 出身者相馬御風を縁とする、早稲田大学の学生と一緒に進める、地域連携エリアの複合的な魅力づくりについて伺います。

以上、1回目の質問です。よろしく申し上げます。

○議長（中村 実君）

暫時休憩します。

〈午前10時07分 休憩〉

〈午前10時08分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

○9番（田原 実君）

事務局のご指導により、もう一度読み上げるということですので、再度、通告書を読み上げます。

質問1の（2）のところでございます。細かいところです。

- ① 休日夜間救急医療体制確保について。
- ② 市内産婦人科確保について。
- ③ 総合診療医育成支援について。
- ④ 医師確保対策、医師研修費助成について。
- ⑤ 医師看護職等修学資金貸与事業について。
- ⑥ 認定看護師等資格取得費用助成について。
- ⑦ 高度医療施設設備等整備について。
- ⑧ 18歳までの子ども医療費助成について。
- ⑨ ひとり親家庭等医療費助成について。
- ⑩ インフルエンザ予防接種費用助成について。
- ⑪ 不妊症、不育症治療費助成について。
- ⑫ 山間僻地診療所運営の継続について。
- ⑬ 在宅医療、訪問看護の促進と支援について。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

田原議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、引き続き保健所や医師会、糸魚川総合病院と連携して検査・医療体制を整備し、今後始まる新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保にも努めてまいります。

2点目につきましては、今後も糸魚川総合病院をはじめ、医師会など関係機関と協力をしながら、僻地医療を含む地域医療や救急医療体制の維持、医師・看護師等の医療技術確保を図ってまいります。

また、各種助成制度の拡充により、市民の経済的負担軽減に効果があったと考えております。

3点目につきましては、地域医療における課題やその時々における医療問題等について、市民と

共有できたものと捉えております。

4点目につきましては、地域医療体制を維持する上で大変重要な課題として捉えており、医療従事者の働きやすい職場環境整備をはじめ、修学資金貸与制度などの人材確保やキャリア教育による人材育成に取り組んでおります。

2番目の1点目につきましては、市内には8つの漁港、2つの漁業協同組合があり、元年では組合員数は274名、水揚げ量は約2,750トンと把握いたしております。沿岸から急峻な地形で、漁場が近いことから多くの魚種に恵まれ、観光資源として活用されております。

2点目につきましては、漁業協同組合では最新技術の導入や加工に取り組んでおり、今後も漁業関係者と連携して、情報発信に努めてまいります。

3点目と4点目につきましては、保育園、学校など、ジオ給食や公民館事業での地魚教室などを実施しており、引き続きふるさとの食、魚を身近に感じられる取組を進めてまいります。

5点目につきましては、注意看板や柵の増設など、漁業関係者と協力をし、対策に取り組んでおります。

6点目につきましては、海のレジャーをはじめ海産物やロケーションなど、海の魅力をPRし、引き続き誘客を進めてまいりたいと考えております。

7点目につきましては、今の時代ならではの情報発信の手法で大変効果的であると考えており、現在、支援いたしております。

3番目の1点目につきましては、来年3月の開業を目指して整備を進めており、押上区の皆様と開業イベントや新駅開業後の地域づくりについて話し合いを進めているところであります。

2点目につきましては、鉄道の利用促進とともにヒスイ海岸での石拾いなど観光誘客を進めていく必要があると考えており、看板や駐車場の整備などを検討いたしております。

3点目につきましては、駅周辺に商業施設があることにより、より集客力や利便性が高まるものと考えております。

4点目につきましては、海川流域には特徴ある景観や歴史のある資源が存在することから、その魅力をエリアとしてPRしていく必要があると考えております。

5点目につきましては、西海地区や押上区の取組と連携をしながらアクティビティなどの誘客に努めてまいります。

6点目と7点目につきましては、地域の意向を踏まえて対応してまいりたいと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

それでは、地域医療の現状と課題について再質問します。

新型コロナウイルス対応について、まずは医療機関が機能するための予防策と検査体制、ワクチン確保について担当課で把握していることなど伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

おはようございます。

各医療機関におきましては、医師、看護師をはじめ関係者が一丸となって感染防止策に取り組んでおります。

また、本議会におきましても病院における医療従事者確保のための環境整備でありますとか、経営状況を改善するための補正予算を計上させていただいたところであります。

一方、ワクチンの確保と費用負担につきましては、国が行い、実際の接種については市町村で行うということになりますけれども、まずは医療従事者、それから高齢者などが優先的に接種されるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

次に、市民のための予防策と検査体制、ワクチン接種について担当課で把握してることなど伺います。

仮に、重症化した場合には、上越の病院での対応となりますが、最近の上越での感染に関する情報と、この先の対応について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

感染の予防には、マスクの着用でありますとか、手洗い、3密を避ける、こういう市民の意識・行動に根差した基本的な対策というのが、最も必要であるというふうに認識しております。

検査体制につきましては、診療、検査、医療機関として、指定を受けた身近な開業医におきましても、発熱等の症状がある場合は診療と検査を行う体制が整っております。

また、ワクチンの接種につきましては、国の情報を踏まえ、円滑な接種に向けた体制づくりを今進めておるところであります。

一方、最近の上越地域における感染の状況であります。11月27日に厚生連上越総合病院で医師の感染が確認され、救急医療だとか外来診療に大きな影響が出たということが報じられておりました。市内の医療機関、特に糸魚川総合病院が取り組む感染防止策については、情報共有しながら支援をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

地域医療の施策について伺います。

医師、看護師が不足し、休日・夜間救急医療や産婦人科確保に対応できないことが心配です。最新の情報と、この先の対応について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

医師、看護師確保につきましては、当市にとって最重要課題というふうに捉えております。今年度につきましては、コロナ禍ということもあって、活動の制約というのがありましたけども、関係機関と一緒に、富山大学、看護大学等への要望活動を行ってきたところであります。

また、糸魚川総合病院では、令和3年度も必要な看護師を配置いただき、現在の診療でありますとか入院体制については、維持されるものというふうに認識をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市からは、医師確保について、医療の確保について様々予算をつけていただき、感謝します。

ただ、この先、人口減が進み、仮に人口が4万人を割った場合でも、医師や診療科は確保できるのか心配です。富山大学からの医師派遣と糸魚川総合病院の研修医確保策による診療科の継続については、今後も医師や研修医が確保できますか。その見通しと、この先の対応について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今後、人口減少に伴い、医療需要の減少というのが予測されます。今、議員の指摘のとおり状況だと思えます。それによって医師派遣でありますとか、診療科目の維持に一定の影響が及ぶものというふうに心配をしております。市としましては、糸魚川総合病院と連携しながら、派遣医師の引上げだとか、診療科目の縮小が起こらないよう富山大学等へ働きかけを行ってまいります。

一方、県による地域医療構想の具体像、これが、今後近いうちに示されるものと考えており、糸魚川市の地域医療体制について、県の考えを確認しながら持続可能な医療を実現していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

医師・看護師等修学資金貸与事業や大学からの医師派遣のための事業の成果はどうか。数値として確認してありますか。今後も医師派遣につながることを確認してありますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

専門診療医確保対策事業におきまして、富山大学から糖尿病の専門医1名を派遣いただき、寄附講座を行っていただいております。この事業につきましては、必要とする診療科目の医師を確実に確保できることから、今後も事業の継続に努めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

次に、子供の医療についてです。18歳までの子ども医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成、インフルエンザ接種助成、不妊症・不育症治療費助成について、この先の対応を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

議員ご承知のとおり、それぞれの事業におきましては、今まで段階的に拡充をしてきておりまして、県内でも手厚いほうだと思っております。子育て世代の経済的負担の軽減に寄与したものと捉えております。

しかしながら、さらなる拡充というところも課題だというふうに認識しておりまして、引き続き子育て世代の声を聴きながら財源確保も含めて必要な支援策を検討してまいりたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

次に、山間僻地での医療確保について、また、在宅医療、訪問看護の促進と支援について、この先の対応を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

山間部の医療としまして、根知、小滝、平岩診療所については、今後も無医地区解消のため糸魚川総合病院から医師を派遣いただき、継続したいというふうに考えております。

在宅医療、訪問看護につきましては、今後も必要とされる医療介護サービスであるというふうに認識しており、市として実情を把握しながら必要な方にサービスが行き届くよう今後も努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

在宅医療、訪問看護の需要が今後増えると思います。

一方、糸魚川の市域が広く、谷が深い地域特性から看護事業を効率的に行うことが難しいと聞きます。そのようなことから、きめ細かく利用者、家族に寄り添う訪問看護事業者が数多く必要と考えられます。そのためには、事業者への市の対応は差別なく問題のないようにしていただきたいのですが、担当課から現状を伺い、問題がないか確認したいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

嶋田福祉事務所長。〔福祉事務所長 嶋田 猛君登壇〕

○福祉事務所長（嶋田 猛君）

おはようございます。

介護保険におけます訪問看護につきましては、主治医の指示や、また利用者の希望によりまして、事業者と主治医が密接な連携の下、サービスが提供されるものであります。広大な面積を有する本市におきましては、今後も在宅医療、訪問看護のニーズが高まることが予想はされます。これからも住み慣れた自宅で、医療や看護を必要とする市民の方々が、適切なサービスを受けられるよう市としてもしっかりと対応してまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

医療フォーラムで、今年は8050問題を取り上げていただきました。私の3月の一般質問で、相談しやすい体制の構築、安心できる居場所づくりの運営と人材確保、当事者の経験を生かす仕組みづくりを関係者と連携して進めると答弁いただきました。その後の対応を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今年度になりまして、当事者のご家族から家族同士で集まり、悩みを話し合いたい。経験者として協力したいというような申出がありました。当事者による自主的な活動につながるというふうに期待をしておるところであります。

また、12月12日、明日ですけれども、ひきこもりをテーマとした精神保健福祉フォーラム、これ県の保健所が主催するわけですが、これにおきまして講演会后、講師を囲んで、今後の糸魚川地域における取組について懇談をしたいというふうに考えております。今後も当事者の自主性を尊重しながら支援をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ありがとうございます。その方針を持って進めてください。

私は、医療フォーラムによって市民が医療の現状を理解することで、糸魚川の地域医療が確保され、持続されていくと考えますが、やはり心配なのは看護師不足です。糸魚川総合病院の介護施設の閉鎖の原因は、看護師不足と確認されています。この看護師不足を課題として市民と共有すべきではないですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

地域医療フォーラムにおきましては、地域医療の課題でありますとか、厳しい現状についてご報告をさせていただき、参加していただいた方からは共有できたものと考えております。

しかし、看護師不足が当市の地域医療を維持していく上で大きな課題となっておりますということをご存じない市民の方も多くおられるというふうを考えられ、これをより多くの市民の皆さんと共有をして、市ぐるみで取り組んでいかなければならないというふうと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

医師の働き方改革が、間近に迫っています。医療機関においても様々なことが起きるでしょう。例えば医師の献身的な長時間労働、犠牲とも言える働きによって成り立ってきた救急医療、長時間の手術や外来対応などが、医師の時間外労働規制により成り立たなくなるおそれがあります。その中で糸魚川の地域医療は、どう確保されていくのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

医師の働き方改革につきましては、2024年から制度が施行されることとなっております。人口と医療需要が減少する中で、県は地域医療構想の実現に向けた具体像を示すとしており、上越地域医療圏としても、それをベースに今後検討が行われるというふうと考えております。

当市としましては、糸魚川総合病院が唯一の基幹病院であり、地理的条件でありますとか交通条件などから、一定の医療については、当市内で完結する必要があるものと認識をしており、糸魚川総合病院と連携をし、必要な地域医療の確保に今後も努めてまいりたいというふうと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

現状はそのとおりだと思います。

ただ、糸魚川市の5年先、10年先の医療ビジョンはありますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

ご質問の医療ビジョンにつきましては、県レベルで地域医療構想が策定をされ、県内7つの医療圏域ごとに今現在、検討が進められておりますけれども、地域医療体制の維持、これにつきましては、安全・安心な生活のみならず、子育てでありますとか若者の定着などから、不可欠であるというふうに認識をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

医療のビジョンはあるかという質問なんです。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今ほどの説明にもありました今現在、県レベルで地域医療構想が策定をされ、その具体化に向けて進められております。まずは、その地域医療構想をベースにしながら、糸魚川地域の医療体制については構築をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

地域医療のビジョンを描き、目的と目標を定め、戦略的に進める必要があります。でないと、市民の命を守ることが成り行き任せになってしまいます。できることしかできない、その現場の事情も分かりますが、その現実を変えていくことが、市長の役目ではないですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

地域医療は、非常に今危ういところにあると理解をいたしております。そういう中で、この医療に関しましては、ご承知のとおり一自治体でできるものと、できないものがございます。そういう中でその大きな課題については今、課長がご答弁申し上げたとおり県と連携しながら進めていかなく

てはいけない。また、今さらに大きい問題につきましても、さらにそれを大きく捉えて北信越市長会の中で各自治体の市の皆様と、ほぼ100%に近い市の皆さんと今そういった問題に取り組んでもおります。そのように大きな問題、また、我々が解決すべき我々が対応できるような問題については、今取り組んでもおります。そのように今市民の皆様方が、一番安心・安全に暮らせるという環境づくりが大切かと思っております。その中で地域医療の占める割合というのは、非常に大きいものがございます。そういったところについては当然、私も先頭になって取り組んでまいります。医師確保、看護師確保については、その一番の大きな課題と捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

そのためには、医療人材の育成・確保が必要です。そして、そのためには教育の質を上げて、子供たちが医療の道を進んでいける学力をつけることも必要です。また、医療の知識に触れ、進路に目覚める場も必要です。なので、医療を家族で考えたり、看護職を目指す芽生えを作り、育て、看護師となっていていただく入り口として看護師育成のテキスト「ナースへの道」作成と活用をと、私は申し上げます。子供たちを全力で応援して、夢を現実に、そのガイドとなる環境をつくるのは、教育長の役目ではないですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

おはようございます。

お答えいたします。

看護師の確保は、今、市の状況から見て、本当に重要なことだというふうに思っています。

また一方で、他の専門職、例えば保育士ですとか介護職についてもやはり不足している実態、あるいは地域の企業、事業所においても人材が不足している状況にあるというふうに認識しています。このような中で、教育委員会としては子供たちが将来の進路をしっかりと見定めるための情報提供をしっかりとやる。それから、進路が決まったときには、その進路、夢の実現に向けてしっかりと支えていくという役割が重要になってくるんだろうというふうに思っています。

具体的な取組としましては、医療従事者を含む幅広い業種の皆さんから学校へ出向いて授業をしていただいたり、中学2年生については、インターンシップを5日間、それから、先般11月に実施しましたキャリアフェスティバルでは、多くの事業所からも参加いただいて、幅広い業種の皆さんから、子供たちとお話をさせていただく状況をつくっております。それから、医療従事者養成のための各種助成制度ももちろんございます。

こういったこともあって市内の高校から、医療系の学校への進学者は、ここ数年、30人から40人ほどおられるという実情なんですけども、その出口として糸魚川市が選ばれているかどうかという課題があるかと思えます。その夢の実現の舞台が、糸魚川市になるように地域が本当に夢のある地域であったり、職場環境が充実したり、そういったことが必要なのではないかと私は思い

ます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

教育長、ありがとうございました。

できれば医療人材育成の取組、環境の整備のステージをもう一つ上げたいところですよね。

それで私は、看護師育成の専門機関の創設は行政の役割ではないかと思っております。昨今の高校の教育改革やリモート等の情報技術によって、以前は無理と思われたことが、糸魚川でも実現可能なはずで、今できない理由を並べて、明日の医療をなくしてもいいのでしょうか。ぜひ取り組んでいきたいと思いますがいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

医療系の専門機関の設置というご提案なんですけども、なかなか立地には簡単にいかない部分があるかと思えます。

ただ、ご提案にありましたとおり遠隔での授業ですとか、教育委員会のほうでも、例えば大学等との連携で、子供たちに授業等をする場を設けております。そういった機会を踏まえて、もう一歩進んだキャリア教育ができるように十分また検討してまいりたいと思えます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

あまりネガティブなことを言うのは慎むべきかもしれませんが、正直、糸魚川の明日の医療は分らないです。もっと言えば、医療崩壊がいつ訪れるかという状況かもしれません。だからこそ、ここで生まれ育った子供たちが、医療の道を志し、医師、看護師として活躍する未来を思い描き、それを市も市民も全力で応援することで、明日の医療をつくりましょう。医療人材を地元で育てて、地元の病院で勤務していただく道筋をつくる。同時に、人口を増やし、持続可能な社会を実現することが、政治の責務、ここにいる私たちがなすべきことです。

市長、いま一度伺いますが、市長はこの先頭に立たれますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、議員が質問されたこととは一致しないかもしれませんが、我々はそういった事柄について、今進めておる状況であると思っております。

しかし、教育施設については、少子化の中において、これは医療機関の関係の教育現場といいましょうか、教育の施設については、非常に難しい状況だと、私は捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

では、「糸魚川のシーフードは最高」の再質問です。

資料とパネルを準備したのでご覧ください。

パネルの见えない方は、申し訳ありません。市内漁港の現状、漁業協同組合、漁師の数、水揚げの状況、市内漁場の特性とエリアごとの魚種、近隣観光施設の連携について、担当課から説明をいただきたいと思ひます。

また、12月から改正漁業法が施行されていますが、その影響や対応について、併せて担当課に伺ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

おはようございます。

それでは、今ほどのご質問の件をお答えいたします。

市内の漁港につきましては、筒石、能生、鬼舞、浦本、大和川、姫川港、親不知、市振の8つの港。

また、漁業協同組合は、上越漁業協同組合と青海町漁業協同組合の2つであります。漁業協同組合の組合員数は、令和元年274名となっており、水揚げ量につきましては、約2,750トンということでございます。

漁場の特性につきましては、沿岸から急峻な地形であり、漁場が近いということから新鮮な魚介類、また、船の燃料等についても非常に有利な条件であるというふうに認識しております。

エリアごとの魚種でございますが、筒石はニギス、能生はベニズワイガニ、浦本はカレイ、親不知、市振はアジ類というような形で認識をしております。

観光施設との連携につきましては、マリンドリーム能生、また、親不知ピアパークの道の駅などで鮮魚の販売、また、お食事の提供ということで連携をしているところであります。

改正漁業法のことでございますが、こちらの法律の改正につきましては、いわゆる漁獲制限、漁獲量を制限する中で水産資源の保存、また適正管理を目指したものであると理解しております。

現在、当市の状況に置き換えますと、規制8種類の魚でございますが、そのうち当市の漁獲量で行きますと2割ということになります。大きく影響を受けるのが、アジ類ということで把握しております。

また、現在15種類の魚については検討中でありまして、こちらのほうが今後規制されますと、

今ほど申し上げた魚が、ほぼ対象になるということでございます。

市内の漁港では、主力魚種のブランド化に現在も取り組んでおります。ベニズワイガニ、ニギス、甘エビなどがございますが、豊漁による値崩れや未利用魚の加工事業などに取り組んでおります。そういったことは、この法律の改正によりまして、ますます重要性が高まってくるということでございます。今後も私ども行政も含めまして、漁業関係者と、また連携・協議してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

丁寧なご説明をいただきましてありがとうございます。

次に、ブランド魚と深海魚の活用について、改めて担当課に伺います。

先進地である島根県浜田市や静岡県沼津市の取組について、資料を取り寄せて担当課にお渡ししてあります。糸魚川の参考となる事例があれば、ご紹介ください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

資料ありがとうございます。

ブランド化、ブランドの魚介類につきましては、当市の場合、大きくは絶対的なベニズワイガニ、また、先ほどご説明ありましたが、エビ、また、タグつきの本ズワイなどの取組がされております。

また大きくは、今シーズンに入りましたけども、あんこうフェアに代表される冬の味覚の代表でありますアンコウというような取組が、地域において関係者一丸となって取り組まれているというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

糸魚川の主な魚は、糸魚川うまいもん会がブランド化に取り組むメギス、南蛮エビ、通称甘エビ、ベニズワイ、本ズワイ、カレイ、ブリ等様々、深海魚は、アンコウに幻魚、ヌタウナギもいいですね。

さて、魚の活用については、経済効果を出していくことが目的ですが、先進地の戦略はどうか。そして、糸魚川では今後どう進めますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

今ほど頂いた資料等々を私どものほうでも参考にさせていただいております。内容を見させてい

ただきますと、やはり取組については流通経路等も含めた地域の一体的な取組、また、特性・特産品の高付加価値化、それともう一つは、売り込むための一丸となった強力な情報発信と売り込みということでございます。一番大きなところは、やはり地域全体が一丸となってというふうに理解しておりますので、私どものほうも今後、先進地の取組、参考にしながら水産業、まず漁業協同組合としっかりと情報共有、連携強化に努めまして、取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

先進地の取組は、子供たちへのアプローチということがありました。基本、糸魚川の魚を子供や子育て世代の市民に知ってもらうことから始めないといけません。その例として、浜田はクリアファイル、沼津は深海魚のパンフレットがあります。糸魚川でも何か作りませんか。例えば壁に貼る身長計はいかがですか。糸魚川沖で様々な水深で、様々な魚が捕れていることを身長計で視覚化して各家庭や学校に配付して壁に貼ることで、魚の好き好きにかかわらず、日常的に接してもらうことができ、糸魚川の魚の認知度が向上し、さらにQRコードを添えれば、魚の情報や動画が記載されているウェブサイトに導くことで詳しく知ることもできます。提案しますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

ご提言ありがとうございます。

子供や家庭にふるさとの魚をしっかりと認識してもらうということ、また、学び、食べていただくことは大変重要なことだというふうに考えております。

先ほど市長答弁にもございましたとおり、当市におきましてもジオ給食であったり、地魚教室であったりという活動もしておりますが、もう一歩進めまして、親子で魚をもう一度認識するといういい機会ではあるかというふうに考えております。実現に向けましては、庁内、教育委員会等とも少し協議を重ねまして、実施できるかどうか、また判断をしまいたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

これからと言わずに、既に協議してあることじゃないかなと私は思うんで、次の質問に移りますけど、学校給食や食育での糸魚川のシーフードの活用について、今度は教育委員会に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

今ほど農林水産課長の答弁の中にもあったとおり、教育委員会としては、幼稚園、保育園、学校の月1回、市内の食材を使用したジオ給食を提供しておりまして、当然、メギスなり宗八カレイなどの糸魚川で捕れた魚を提供しております。

また、料理することによって食に対する知識を学んでもらうために未就学児のキッズキッチン、小学生のジュニアキッチンでも、メニューには必ず旬の魚を使った料理を取り入れて、魚を知ってもらうと。魚の調理方法を学んでいただいているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ただ、子供たちみんなが魚を好んで食べるかということ、肉に行ってるようなところもありますので、そこをどう戻してくるかということが課題になるうかと思うんですけども。

そこで、子供たちの中には、魚は食べられないが魚が好きなので、魚の生態の研究者になるとか、あるいは魚のビジネスに向かうとか、雑誌や広告に携わるとか、漁師さんや調理師さんでなくとも魚に関わって活躍する子供を育むことは、教育委員会でも取り組めることだと思います。その点、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

富永こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 富永浩文君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（富永浩文君）

おはようございます。

小中学校においては、生活科あるいは総合科、総合的な学習の時間を中心に幅広い職業分野について、また子供たちの興味・関心に応じて学ぶキャリア教育、あるいはジオパーク学習を推進しているところであります。

魚に関することと言えば、例えばある学校では同校出身の魚のフードコーディネーター、この方を招きまして、その人の仕事、あるいは魚の栄養だとか生体、食味などについて学習しています。またある学校では、海洋高校の教職員を講師にしながら水産資源を有効活用する活動について、専門的な分野も含めて学習する機会を設けているということです。こうした活動を通しまして、生きがいを持って活動する人の姿に学んだり、魚などの専門分野への興味・関心を高めたりしております。

こうした事例を紹介しながら、また、ジオパーク学習交流会という活動があります。そういったところを利用して、多くの子供たちが魚であれば魚の生体、あるいは魚に関する仕事について興味・関心を高められるような場を教育委員会として提供していきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ありがとうございました。

糸魚川の魚をおいしく食べて、習慣化する取組と経済効果について、担当課に伺います。

また、今コロナ禍で魚の価格が下がっていますが、地元の魚を食べることで漁師さん、魚屋さん、飲食店さんに経済が回り、持続するならば、そこへ市が支出し、応援をしませんか。その場合の経済効果を試算し、戦略的に取り組んではいかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

ご提言ありがとうございます。今その取組の前段に、先ほど議員のほうからもご提案いただいた中で、私のほうからもお答えさせていただきました。流通も含めた地域としての一体的な取組、また、同じ方向性を向いた取組の構築ということが必要かと思っております。本当の1丁目1番地ということになれば、まずもって子供たちがしっかりと地元の魚を認識するということが必要になってまいりますので、そういった部分、しっかりとそういったご提案いただいた課題に取り組みながら、今後進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

（4）加工品の開発と販売への支援については、ご存じのとおり海洋高校や製造業者さんの工夫と頑張りが目覚ましく、ここをさらに伸ばして経済効果を生み、雇用を生むというところを目的に、行政の支援・協力をお願いしたい、これからの取組について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

海洋高校、能水商店、行政と、これまで産学官推進連携ということで取り組んできております。今ほど議員のほうからお話のありましたとおり、確かな成果が出てきているところであります。私どものほうもさらなる今後の維持・継続も含めて、定例的な三者による会議を毎年定例会として実施しているところであります。その中で必要な支援、また協力、連携等々考えてまいりたいというふうに思っておりますので、引き続き連携に努めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

よろしくをお願いします。

同じく（4）魚を使った疲労回復、長寿メニューの市民への周知と取組について伺います。

私の個人的な感想では、疲労回復には魚のだしのお吸い物やみそ汁がとてもよいと感じます。また、筒石の皆さんは、新鮮な魚を召し上がっているのです、長寿で元気という私なりのイメージがあります。糸魚川の魚を食べると、疲労回復や長寿につながるエビデンスをつくれれば、イメージアップになり、魚食の需要が広がると思います、そういった戦略はいかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

一般に魚介類には、DHAやEPAなどの体に必要な機能成分が多く含まれているということでございます。それを使って料理をすれば、当然、栄養価は高い。

ただ、今、議員のほうからご提案ありましたとおりイメージというのは、大変大切なものであります。そして、そこに導くためのキャッチフレーズということも大変重要なことだというふうに思っております。私ども、今ほどのそういったお話を伺いながら、そういった取組について、また協議をしまいたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

筒石のご出身で長崎一生さんという方がおられます。先ほどちょっと触れられましたね。魚にとっても詳しく、漁業、流通に詳しく、著書もあります。長崎さんを、担当課はご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

長崎さんにつきましては、今ほどご紹介のあった地元の方ということ、また、地元紙の中でコラムを掲載されているということ、また、私ども農林水産課としましても、2年ほどになりますか、講演の実施について少しご相談をさせていただいたということで接点ございます。こういった方につきましては、また今後も連携取れるときは取っていききたいなというところで考えておるところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

長崎さんの著書「五種盛りより三種盛りを頼め」の結びのところをご紹介します。

魚がおいしい世の中をつくるのは、人である。また、漁業・水産業には、国内消費の低迷、後継者不足など暗い話題もあるが、世界的に魚の消費が伸びており、将来性があり、夢がある。さらに魚がおいしくなれば、人々はもっと魚を食べる。人々がもっと魚を食べれば、心と体が元気になる。心と体が元気になれば、よいことをする人が増える。よいことをする人が増えれば、世の中がよく

なる。これを一言で言うと、魚がおいしくなれば、世の中がよくなるということだが、おいしい魚を食べて、魚がおいしい世の中をつくり、共に世の中をよくしましょうとあります。

私は、この考えに共感し、糸魚川のシーフードは最高、さかなのまち、糸魚川再生の質問をしていますが、今後、長崎さんをコーディネーターに地方創生を進めてはいかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

先ほど来、いろいろとご提言いただきまして、私どものほうでも前向きに取り組んでまいりたいというお話でございます。その中でそういった課題一つ一つ解決をしていこうということで、検討し、解決をしていきたいというふうなことで今進めようとしておりますけれども、その普及促進なりの課題をしていくために、必要な取組をする。そういった検討の中で長崎さんをまたお願いする。ご支援いただくというような取組も考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

次に、（5）の市内漁港への釣り人の侵入による被害と対策の状況について、市の管理する漁港では、親不知漁港での迷惑行為が顕著と聞きますが、現状と市の対応について、いま一度担当課に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

被害の状況としましては、釣り人が岸壁に居座る。釣りをしてるわけですけども、そこに漁船が給油作業に戻ってきた。移動してきたときに移動してくれないというところ、また、投げ釣り等によるおもり等が、出航していこうとする、また戻ってくる船に当たりそうになるという危険行為、また、港内でのごみ捨て等々、漁師にとっての非常に作業の支障になってるというふうにお聞きしております。

市の対応としましては、これまでも立入禁止看板やら侵入防止柵など、またごみ捨て禁止看板の設置などを行っているところであります。完全に侵入を防ぐ、また防いでいいのかというところの議論もありますので、今後、漁業関係者としっかりと協議をしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

もう何年もの間の問題だと聞いているんですけども、漁港での作業ができないとなれば、漁師さん

にとっては死活問題です。管理者である糸魚川市が問題解決に当たるべきではないですか。取締りや罰則はどうなっていますか。

その一方でルールをつくり、マナーを守って釣りをしていただく方策というのはないのでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

取締り、罰則等につきましては、関係者以外の立入りということに対しましては、軽犯罪法の適用になり、1年以下の懲役、または100万円以下の罰金という場合があるということであります。

ただ、実際にはそういった今ほどの先ほどの申し上げた方々いらっしゃるんですが、漁師さんもそこまでは求めてはいない。ただ、やはりお互いに感情的な動きになったときには、警察に出動を求めているという現状であります。

今後、私どもとしましては、やはりルールづくり、そして何よりもルールも守るマナーというところをどのように皆様方に理解していただければいいのかというところで、今非常に頭を悩ましてるところではありますけども、漁師さんたちの、またこれはご協力・ご理解も要ることですので、しっかりとそういったところは話を詰めていきたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

うまい解決策というのはないんでしょうかね。しかし、いつまでも放置しておくわけには行かない。

そこで、例えばですが、長野県の釣り愛好家で様々な事例を知っている方に相談してはいかがですか。たとえ糸魚川市の漁港でも、この問題の解決には、これから様々な人から知恵を借りる必要があると思います。

また、それをきっかけに市内漁港の観光活用につながるアドバイスも頂けるかもしれません。今後の取組を農林水産課に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

ご提言ありがとうございます。私ども親不知の漁港の中にも遊漁船を利用されている方々、親不知地区の遊漁船の利用者協議会というものがございます。その中に長野県の方々が約9名加盟されているということでございます。

今ほど頂いた意見、私どもまた、その方々にも少しお声がけをさせていただきながら、そういった意見交換とかそういった取組を少し進めてまいりたいというように思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

次に、（6）ですが、これはニーズ調査し、旅行商品を考えていくべきです。ここでも長野県の釣り愛好家の方など、様々な知恵を借りる必要があるんじゃないでしょうか。こちらは商工観光課に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

いろいろな機会を捉えまして、ニーズを把握することは非常に大切なことであると思っております。併せまして、テレビ等によりましては、各種情報番組で釣りをビジネスにしている事例も多く紹介されておりますので、また、この長野県の愛好家に限らずいろんな方と情報交換を試みる必要もあるのかなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

いろんなニーズというのは、お客さんに聞くのが一番いいと思うんですね。それから、団体で来ていただければ、団体でマナーを守っていただけるということから、改善が図られていくんじゃないかなと。それから、何といても糸魚川の海を好きになっていただきたい。その気持ちを長野の皆さんに伝えることが大切じゃないでしょうか。

（7）ですが、ユーチューブは、情報発信の有効な手だてです。市長の最初の答弁で、ここへの支援をしているというふうにお答えがありましたが、どのくらいの支援というか予算を見てるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今ここで申し上げました支援というのは、誘客宣伝事業の補助金でありまして、個店の場合ですと20万円を限度に情報発信にかかる費用の3分の2を補助しているものでありまして、今、市内の各事業者によって有効に活用されるところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

同じユーチューブの番組でも、漁師ユーチューバーがつくったものと行政がつくったものでは、面白さが各段に違います。漁師ユーチューバーのほうは、海から魚が出てくる、その動画、見ただ

けでわくわくしますよね。担当課は見比べてみましたか。もし、糸魚川と糸魚川の魚を知って、買って食べてもらえるような宣伝をしたいのであれば、見てもらえるユーチューブの作成に、さらに予算をつけて進めてはいかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ユーチューブにつきましては、比較的安い予算といたしますか、お金がかからずに取り組める情報発信の手段でありまして、全国的にもいろんな方が取り組んでおられます。

また、ここへの支援につきましては、その内容にもよりますが、今ある事業の中で取り組むことができるのか。また、それ以上のものが必要なのか、また検討させていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

よろしく申し上げます。

では、質問の3、新駅開業と地域づくりの再質問です。

改めて米田市長に伺います。

私の今回の質問、駅開き、まち開き、谷開き、えちご押上ひすい海岸駅開業をきっかけとする押上、西海、海谷溪谷をつなぐ地域連携エリアの複合的な魅力づくり、その必要性や物の考え方について、市長はどう思われますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

地域と地区、また、地域と地域、その地区と地区、いろんなやはり結びつきや連携というのは大切だろろうと思っております。いろいろと地質・地形、いろんな歴史・文化、そういった要素でつながる、また連携取れるものが数多くあると思っております。

しかし、今ご指摘の西海地区と押上区については、やっぱり海谷、海川流域の文化、また、流域という、やはり連携ができる要素は十分にあると思っております。しかし大事なものは、やっぱりその地区の皆様方や人と人との熱量だろろうと思っております。そういうものがなければ、連携はできても長続きしないのではないかなと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

以下、担当課ごとに質問をまとめましたので、複数の内容を一緒に伺うかもしれませんが、よろしくをお願いします。

まず、建設課関係です。新駅開業事業のスケジュール、それ以降の駅周辺のにぎわいづくりの進め方について、地元押上区と協議しましたか。区民の関心は、高まっていますか伺います。

また、愛される駅と鉄道を目指して、利用者、高校生と駅や利用について話し合いをしましたか。意見や要望を聞きましたか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

来年の3月の開業に向けまして、地元の開業イベント部会のメンバーの皆様と、それにえちごトキめき鉄道の担当を加えた、市役所も加えた三者による打合せというものを、今年5月から毎月開催しております。その中で開業式典の内容についても協議を進めております。

また、この8月からは、そこに企画定住課も加えまして、新駅開業をきっかけといたしました地域づくりにつきましても意見交換を始めているところでございます。

また、先月末には、工事現場付近に新駅開業をPRいたします看板を地元の方から設置いただきました。また今後の新駅の利用促進ですとか、環境美化活動を一体感を持って取り組むためのスタッフジャンパーというの、地元のほうでも作っていただいたところでございます。そういう地元としての主体的な動きというのもありますので、新駅の開業の関心、機運の高まりというのを感じているところでございます。

あと高校生との話し合いということですが、これは今度、こども課のほうとも連携をしております。糸魚川の魅力アップですとか、観光振興について研究を行っておる糸魚川高校に地域探究クラブというクラブがございまして。その皆様に新駅のアイデアを求めています。新駅を最も利用いただけるであろう高校生に、より鉄道に興味を持っていただけますように、その一歩目といたしましては、えちごトキめき鉄道の雪月花のデザイナー、あとジオパルのエキプレスの再現車両でいろいろお世話になっております川西さんのほう、株式会社イチバンセンの川西先生のほうにご講義いただくことを第一歩目として、進めることを今、糸魚川高校のほうに投げかけをいたしまして、検討を進めているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

川西先生、ぜひお願いして、お知恵を借ります。ありがとうございます。よろしくをお願いします。

パネルをご覧ください。

この海岸の護岸をイルミネーションで飾れば、駅改良の宣伝と海岸のイメージアップになります。

また、国道をくぐる地下道や出口シェルターが老朽化しているので、改修工事をして、シェルターの屋上をフラットにして、テラスとして使う。また、屋根を伸ばして、トイレとごみ置場を造るとよいと思いますが、いかがですか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

新駅の駅名でありますえちご押上ひすい海岸駅という、この名前の由来にもなっております押上海岸の魅力アップ、イメージアップとして、有効なご意見として参考にさせていただきたいと思えます。3月の開業に向けての宣伝ということになりますと、少し時期的には難しいところですが、今後、海岸のイメージアップといったものを市としての観光的な観点に加えまして、地域の皆様のお考えなどというものもお聞きしながら、それらを考えていく必要があるというふうに私は考えております。

また、国道の地下道ですとかシェルターに対するご提言につきましても、県内見渡しますと小千谷の駅前には、ニシキゴイの模様を模したようなシェルターですとか、柏崎の鯨波のほうには、鯨の潮を吹くような形を模したようなシェルター、ユニークな事例もございます。今の押上の地下道の壁面には、いきさつはちょっと不明なのですが、子供が書いたと思われるような海の生き物の絵で壁面が飾られています。海岸地下道のイメージアップにつきましては、こういうことも今の絵も生かしていきたいですし、関係機関と協議をしながら考えていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

十分なお答弁をいただいたと思えます。よろしくお願ひいたします。

次に、地元区民や市民の新駅開業を祝う活動への支援について伺います。

市民活動やイベントへの支援の形は、どのようなものになりますか。また、どのくらい予算をお考えですか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

新駅整備の大きな力、この実現につながったのが、市長の答弁にもございましたが、地元の熱量だというふうに思っております、そこは感謝をしておりますでございます。整備計画当初からもそうでしたし、開業事業にも力を頂いておりますでございます。

また、開業後のまちづくりも含めまして、主役であります地域の皆様と一緒に市役所のほうも寄

り添って取り組んでまいりたいというふうに、これは当初から考えております。

また、支援につきましては、県沿線3市、えちごトキめき鉄道で構成いたします活性化協議会というものがございまして、その中のメニューに利用促進の活動等を助成するえちごトキめき鉄道利用促進団体助成事業という制度がございまして、今年度は40万円が予算計上されているところがございます。また、今年度、既に押上区の皆さんもスタッフジャンパーの製作等に一部活用いただいております。全体の予算にも限りはございますが、今後も区民の皆様、市民の方が有効に助成制度を活用いただけるように、市も積極的に関わってまいりたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

開業後の市民活動に向けて、来年度、もっとたくさん予算を盛ってください。よろしく願います。

次に、観光課関係です。「宝石の国」のジェードのキャラクターの使用料、ヒスイ海岸の看板のライトアップの費用、バス対応駐車場整備の費用は、それぞれ幾らと見積りされますか。

また、観光誘客に向けた環境整備としては、トイレやごみ置場が必要と考えます。先ほどシェルターの改造を提案しましたが、今できる対応は今すべきです。いかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

「宝石の国」のキャラクターの使用料につきましては、前回は会社のご厚意によりまして、使用料はかからなかったものと聞いておりますが、一般的には使用料がかかってくるものと考えております。

ヒスイ海岸の看板のライトアップの件につきましては、現在、具体的な計画がありませんので、金額は申し上げられませんが、電源を確保する必要がありますので、相応の費用がかかってくるものと思われま

す。次に、バスの対応駐車場の整備につきましては、現在、国道の南側に海水浴場の駐車場を設置しておりますが、バスには対応していない状況でありますので、これも整備の内容によって、費用は大きく変わってくるものと思われま

す。また、トイレにつきましては、現在、海水浴シーズンに仮設のものを設置しまして対応しておりますが、また、ごみ箱につきましては、現在、持ち帰りを原則としてお願いしておるところであります。

環境整備を行うとした場合は、国道8号ですとか、海岸保全施設への配慮が必要になってくるものと思われま

すので、総合的な検討が必要になってくるものと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

以前に質問しましたが、富山県朝日町との観光連携や、駅開業による誘客宣伝は進んでいますか。経済効果を生むための地元とのコンセンサスや、その対応は進んでいますか。

また、駅近くで駄菓子屋、そば屋、弁当屋、銭湯を造る。事業として取り組む人や企業が出てきた場合、市からの支援で駅周辺ににぎわいと活力を創り出す気はありますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

富山県朝日町とは連携に向けました話合いは行っておりますが、コロナ禍の影響もあり、現時点では具体的なものとはなっていない状況でございます。

しかしながら、引き続き協議を進め、鉄道の利用促進とともにヒスイ海岸つながりによる誘客に取り組んでまいりたいと考えております。

また、駅周辺のお店の方とは懇談を行い、にぎわいづくりに向けた意見交換を行っているところでありまして、まち歩きマップの作成などにより、店舗や観光施設の連携を図ってまいりたいというふうに考えております。

また、駅周辺のにぎわいと活力づくりにつきましては、行政と地域住民、また、鉄道事業者や鉄道の利用者、周辺の事業者等がそれぞれの役割を果たす中で、にぎわいが生まれてくるものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

では、次に、企画定住課関係です。

新駅開業を定住促進に結びつける策は、立ててありますか。新駅開業は地域づくりのチャンスです。押上区の駅周辺には、既に商業施設や福祉施設もあります。生活するには便利な場所ですので、ここを核にして、押上、西海連携エリアの複合的な魅力づくりの中で、移住・定住を進めてはいかがでしょうか。まずは新駅周辺への定住促進、さらに10年、20年先のビジョンを明確にバックキャストでエリア全体への定住促進を進めていくべきと思いますが、糸魚川市にその考えはありますか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

確かに地域の魅力づくりというのは、非常に人口を集める上で非常に大切なものだというふうに思っております。その上でこの地域は、やはり海川沿いという一つのラインで特徴的な景観です

とか、歴史のある資源が多くあると思います。こういったところを地元の皆様と一緒に話をしながら西海地区、それから押上地区と連携した取組を進めながら、地域の魅力を高めていくということは、非常に大事な取組だというふうに思っております。もし連携できる取組であれば、複合的に取り組んでいく必要があるというふうに考えております。

それとあと駅周辺でございますが、確かに駅周辺、非常に拠点でありますので、今後10年先、20年先、いわゆる議員がバックキャスティングというふうに言われましたが、いろんな10年先、20年先のやっぱり人口の集積率というのを予測というのは、非常に大事になってくると思います。そういった中で、住み続けられる地域、そこで経済、それから教育、そういったまちづくりを複合的に、それぞれの周辺で進めていく必要があるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ありがとうございました。

パネルをご覧ください。

地域連携エリアの豊かな自然や文化を活用することについて、教育委員会に伺います。

相馬御風先生が、国宝指定に向けて尽力されたと聞いていますが、この観音像の重要性、それゆえの盗難対策や防火対策についても説明してください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

パネルでお示しいただきました観音像は、なた彫りと呼ばれる丸のみを使って荒っぽく掘られたもので、藤原時代の貴重な彫刻として、現在は国の重要文化財に指定されております。大正12年に相馬御風の尽力によって国宝に指定されたと書籍に記述があり、観音像の国宝の指定に関して、御風は、我が生涯における最大の手柄の一つと述べたとされております。

観音像が保管されている保安庫は、頑丈な鍵で施錠され、火災報知器によりスピーカーで地区に異変を知らせる仕組みとなっております。万が一のときは、消火栓を使って初期消火をする体制となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

重要な国の指定文化財、そのことを地元の高校がちゃんと学んでいますかね。相馬御風先生が校歌を作詞した縁もあり、糸魚川高校の教育プログラムは、地元をフィールドに展開していただきたい。地域資源の発見、地域との交流が期待されますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

高校に探究のテーマ、あるいは素材の一つとして地域の文化財の情報を提供したり紹介することはできますし、それが高校生にとっては、主体的・対話的で深い学び、これにつながっていき、また、地域にとっても高校生との交流によりまして、地域づくりにメリットになるのではと感じます。

しかしながら、高校と地域が自分ごととして学びたい、取り組みたいという双方の意思や気持ちがマッチすることが肝要なのではないかというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

西海地区は、雪かきカレッジで早稲田大学と交流があります。早稲田大学からは10年、20年先を考え、長期スパンで地域づくりに参画してほしいと考えます。それには、早稲田大学のサテライト的な場所が、このエリアにあるといいですね。いかがですか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

早稲田大学さんとは、平成26年度からのご縁がありまして、学生さんとの交流を続けさせていただいております。平成28年度には、大学との連携協定を結んでおりますので、一過性に終わることなく長期的な取組で進んでいかなきゃいけないというふうに思っております。現在は、いろいろな季節に応じて取組を変えておりますが、学生さんの持つ若い感覚、それと地域の交流によりまして、地域の活力が得られているものというふうに思っております。引き続きつながりを持っていくように、この取組は継続してまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

押上から西海エリアの自然や文化財を地域の魅力としてイメージの良さを伝えましょう。情報発信は、高校生や大学生にお願いしましょう。その先にきっと移住や定住があります。それには地域が開かれているイメージが大切だと思います。

それで、開くをキーワードとして、今回ヒスイ海岸から西海、海谷の広大なスペースを生かす地域づくりを考えてみました。

さて、海谷溪谷へ行く途中に日本海が見える場所があります。すばらしいランドスケープを体感できる場所です。ご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

今、議員のお尋ねの場所は、多分、県道からずっと西海のほうへ上がって行って、それから林道へ入っていく海谷山峡パークへ行く一步手前のところなのかなというふうに推測いたしております。私も何回か足を運ばせていただきまして、あそこから見る海川に沿った開けた日本海も見えるすばらしいポイントだなというふうに思っております。まさにイメージとすれば、谷が開けているなどというイメージであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ありがとうございました。海岸から直線で11キロメートル、標高が700メートルだそうです。その場所から私たちの遠い祖先も海を眺めていたと思うと感無量のものがあります。

以前、海川上流から河口までのエリアのすばらしさを生かそうと亡くなった伊井澤議員と語り合ったことがあります。その伊井澤議員の志は、地域の方々に引き継がれていますが、私もその一人として、さらに頑張りたい。そのことを申し上げまして、質問を終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

11時40分まで暫時休憩といたします。

〈午前11時31分 休憩〉

〈午前11時40分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、山本 剛議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。〔3番 山本 剛君登壇〕

○3番（山本 剛君）

清政クラブの山本 剛です。

通告書に基づき1回目の質問をさせていただきます。

「自然環境保全事業」として行われた田海ヶ池の調査について。

本年9月に、「自然環境保全事業」として田海ヶ池の外来生物駆除、生物生息調査が行われました。この事業について、以下伺います。

(1) この事業を行うまでの経緯について伺います。